

科目名	マクロ経済学入門II <3>		
教員名	井上 智夫		
科目ナンバー	1211421005	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

前期に開講される「マクロ経済学入門I」の十分な理解を前提として、マクロ経済モデルをもとに経済理論に関する入門的な講義を行います。

国や地域の経済活動全体を、理論モデルによって記述する方法に焦点を当てて、家計や企業の行動、そして金融政策や減税など実際に行われている政策の有効性などについて学習していきます。マクロ経済学の習得は、経済政策だけでなく、現実の複雑な動きを分解して組み立てる考え方を身につけるうえで欠くことのできない内容を多く含んでいますので、必ず出席して確実に内容を理解するようにしてください。

なお、授業の進捗によって、内容を一部変更する場合があります。

到達目標

- DP6（専門分野の知識・理解）を実現するため、次の3点を到達目標とします。
- ①マクロ経済モデルによって、財・サービス市場、金融市場、労働市場の大まかなつながりを理解し説明できる。
 - ②財政政策や金融政策の効果を理論的に理解し、現実の経済政策について検討することができる。
 - ③マクロ経済に関する新聞記事等を、マクロモデルに照らして理解しある程度の解説をすることができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	講義は基本的に以下の順序で行いますが、進行状況によって若干変更される場合があります。	
	ガイダンス <ul style="list-style-type: none"> ・予習や復習の方法、確認テストや小テストなどのスケジュールの説明 ・マクロから見た経済（3つの市場と4人のエージェント） テキストのイントロダクションと1章を熟読する。	60
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ケインズの考え方と市場の調整機能 ・総需要の中身 テキスト1章の練習問題を解いておく。	60
	総需要と家計の行動（1） <ul style="list-style-type: none"> ・日本の景気と総需要のデータを観察する。 ・消費と家計の行動を考える。 テキスト2章を熟読する。	60

第4回	総需要と家計の行動（2） ・家計の行動とさまざまな消費に関する研究	
	テキスト2章のキーワードを復習し、練習問題を解いておく。テキスト3章を熟読する。	60
第5回	ケインズの45度線モデル ・財サービス市場の需給均衡 ・数値例による計算とグラフによる理解	
	テキスト4章を熟読する。	60
第6回	ケインズ45度線モデルの応用 ・景気拡大策や輸出入の影響	
	テキスト5章を熟読し、練習問題を解く。	60
第7回	到達度確認テスト ・テキスト1-4章を中心に小テストを実施する。 ・テスト終了後に、問題の解説と補足を行う。	
	テキスト1-5章のキーワードを復習し、練習問題を解く。	90
第8回	IS-LMモデル（1） ・投資の種類と景気への影響 ・投資の意思決定と投資関数の導出	
	テキスト6章を熟読する。	60
第9回	IS-LMモデル（2） ・投資関数と財サービス市場への影響 ・財サービス市場の需給均衡とIS曲線	
	テキスト6章を熟読し、キーワードを復習する。	60

第10回	I S-L Mモデル (3) ・ I S 曲線のシフト ・ 財政政策や輸出入の影響	
	テキスト6章のキーワードを復習し、練習問題を解く。	60
第11回	I S-L Mモデル (4) ・ 貨幣の需要と金融市場 ・ 貨幣市場の需給均衡と L M 曲線	
	テキスト7章を熟読する。	60
第12回	I S-L Mモデル (5) ・ 財市場と貨幣市場の同時均衡 ・ 基本的な I S-L Mモデルをもとに、均衡 GDP や均衡利子率を計算によって求める。	
	テキスト8章を熟読する。	60
第13回	I S-L Mモデル (6) ・ さまざまな政策の効果 ・ 財政政策や金融政策の効果を、計算およびグラフによって理解する。	
	テキスト8章のキーワードを復習する。	60
第14回	I S-L Mモデル (7) ・ さまざまな政策の効果 ・ 「流動性のわな」や「クラウディングアウト」など、各種の検定試験や国家試験に頻出の問題を解く。	
	テキスト8章をさらに復習し、これまでの学習内容を整理しておく。	90
第15回	まとめと質疑応答 期末試験にむけて、これまでの学習内容を整理する。 そして実際の経済政策と関連付けて理解を深める。	
	これまでの学習内容を整理し、期末試験にむけて練習問題を解く。	90

授業の方法

一般の講義形式で行いますが、講義の過程で、教員から受講生に質問をして返答を求めることもあります。
なお、授業の進度に応じて、授業内のテスト（到達度確認テスト等）の実施時期、回数は異なることもあります。

成績評価の方法

学期末の定期試験（60%）と平常点（40%）で総合的に評価します。
平常点は、講義内に実施される到達度確認テストや数回の小テスト等の結果の合計です。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠します。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

次の点に着目し、その達成度によって評価します。

- ①マクロ経済モデルによって、財・サービス市場、金融市場、労働市場の大まかなつながりを理解し説明できる。
- ②財政政策や金融政策の効果を理論的に理解し、現実の経済政策についてコメントできる。
- ③マクロ経済に関する新聞記事等を、マクロモデルに照らして理解しある程度の解説をすることができる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

関連科目：その他のコア科目A群。

テキスト

適時指定します。

参考書

適時紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。